

## 歯科健診の手順とポイント

顎顔面・顔貌・口腔機能の視診	挨拶と同時に顔貌や顎位の偏位、口唇閉鎖、舌の動きや位置などを視察する
健診姿勢の保持	歯科医師の膝の上に幼児の頭を仰向けに保持するとよい
口腔清掃状態の視診	年齢別の判定部位・基準により診察する
乳歯の萌出状態、歯の形態・歯数の視診	乳歯の萌出状況を見ながら、歯の形態や歯数に異常がないか診察する
う蝕・要観察歯（C0）の視診	各時期のう蝕好発部位を念頭において診察する
う蝕好発部位	1歳6か月児健診→上顎乳前歯隣接面、歯頸部、口蓋側 3歳児健診→上顎乳前歯の隣接面、乳臼歯の咬合面・隣接面
歯列・咬合の視診	小児歯科や矯正の専門医による早期介入や定期管理が必要な症例を見逃さないように診察する。 *口腔習癖による影響も考慮する
口腔軟組織の視診	口唇・歯肉・舌・口腔粘膜・軟口蓋などに治療や経過観察が必要な症例を見逃さないように診察する
その他の異常の視診	口腔機能の発達の極端な遅れや、虐待兆候についても考慮する

歯科健診結果の判定

歯の状態	健全歯	健全歯 (/または-)	う蝕またはう蝕処置が認められない歯
			*咬耗や摩耗、着色、酸蝕、外傷による破折、形成不全などの症状が認められる場合であっても、う蝕が認められない場合は健全歯とする
			*一部であっても萌出が認められる場合は健全歯として記入する
		要観察歯 (C0)	歯の表面の白濁や小窩裂溝において着色が認められるが、エナメル質の軟化や実質欠損が認められずに経過観察を行うことが適当と判断される歯
	シーラント (⊙)	予防充填が施されている歯	
		*明確な脱灰や実質欠損が認められるものはう蝕とする	
	未処置歯	う蝕 (C)	実質欠損が認められる歯 (現在治療中の歯も含む)
			*視診にて確認する (探針は用いない)
サホライド塗布歯 (⊕)		実質欠損のある歯に、進行抑制としてサホライド (フッ化ジアンミン銀) を塗布してある歯	
		*明瞭な脱灰や実質欠損が認められないものは健全歯とする	

歯の状態	処置歯 (○)		う蝕処置が完了している歯
	その他	喪失歯 (△)	う蝕で喪失した歯
			*先天性欠如歯および外傷などで脱落したことが明らかなものは含まず、空欄とする
		癒合歯・癒着歯	癒合、癒着している歯で、後方歯を欠如とし、歯数は1歯とする
		形成不全歯	歯の形成、石灰化の時期に全身的な影響によってエナメル質が形成不全となった歯
		先天性欠損歯	先天性欠損が疑われる歯
		早期脱落歯	う蝕、外傷等の要因がないまま早期脱落した歯（特に歯根が吸収していない歯）
	*下顎乳中切歯を含む複数歯の早期脱落が認められる場合はHPP（低ホスファターゼ症）の疑いがあるため小児科等に相談する		

口腔清掃

1歳6か月児歯科健診

3歳児歯科健診

上顎4前歯の唇面の歯垢の付着を診査する

全歯唇面の歯垢の付着を診査する

良好

ほとんど歯垢を認めない

良好

ほとんど歯垢を認めない

普通

歯面の1/2程度に歯垢が付着

普通

「良好」「悪い」のどちらでもない

悪い

歯面の1/2以上に歯垢が付着

悪い

ほぼ全歯に歯垢が付着

口腔の評価

歯列・咬合異常	反対咬合	上顎乳切歯が下顎乳切歯より後方に咬み込み、正常な被害と逆になっているもの この時、顎位や単なる前咬みとの識別に注意する	
	上顎前突	下顎乳切歯の切縁が切歯乳頭より後方歯肉に咬み込んでいるもの	
	開咬	2歯以上が上下的（垂直的）に咬合しないもの	
	叢生	個々の歯の位置異常や捻転があるもの	
	正中離開	上顎乳中切歯に大きな歯間空隙があるもの	
	その他		顎変位、歯数異常による歯列不正など
			*不正咬合の原因となる症状（口呼吸、吸指癖、吸唇癖、舌癖など）があれば記載する
		*専門医による早期介入や定期管理が必要でない場合は「〇〇の疑い」と記録し、経過観察とする	

口腔軟組織異常	歯肉炎、上唇小帯異常、舌小帯異常、口内炎、口角びらん、口唇ヘルペス、コプリック斑、口腔カンジダ症、血管腫などの腫瘍、地図状舌、溝状舌、ガマ腫など	
	＊小帯の後退が不十分で一見して小帯肥大を疑えるものもあるが原則として異常と判定せず、経過観察とする	
その他の異常	矮小歯（円錐歯、尖状歯）、結節、エナメル質形成不全、白斑歯、先天性欠如歯、過剰歯、テトラサイクリン系抗生物質の投与や外傷による変色歯など	
口腔習癖の評価	1歳6か月児歯科健診	歯列・咬合異常を招いている習癖がある場合は記録を残し、経過観察とする
	3歳児歯科健診	歯列・咬合異常を招いている習癖のうち、吸指癖やおしゃぶりをしている

## う蝕罹患型

1歳6か月児歯科健診		3歳児歯科健診	
O1	う蝕がなく口腔環境も良い（問診項目で危険因子がない）	O	う蝕がない
O2	う蝕はないが口腔環境が悪い（問診項目で危険因子がある）ので、近い将来う蝕発生が懸念される		
A	上顎乳前歯部のみ、または臼歯部のみとう蝕がある	A	上顎乳前歯部のみ、または臼歯部のみとう蝕がある
B	臼歯部及び上顎乳前歯部とう蝕がある	B	臼歯部及び上顎乳前歯部とう蝕がある
C	臼歯部及び上下顎乳前歯部とう蝕がある	C1	下顎乳前歯部のみとう蝕がある
	下顎乳前歯部のみとう蝕がある場合もこれに含む	C2	下顎乳前歯部を含む他の部位とう蝕がある

### \*02の基準

- a) 歯 垢：上顎4乳前歯の唇面におよそ半分以上歯垢又は歯石が付着している。
- b) おやつ：おやつとして1日3回以上飲食する習慣がある甘いおやつ（飴、チョコレート等）をほぼ毎日食べる。
- c) 飲み物：甘い飲み物（乳酸飲料、ジュース、果汁、スポーツドリンク等）をほぼ毎日飲む習慣がある。
- d) 母 乳：母乳を飲みながら寝る習慣がある。
- e) 哺乳瓶：哺乳瓶でミルク等（お茶、水を除く）を飲みながら寝る習慣がある。
- f) 歯磨き：ほとんど磨かない、または子供だけで磨く。